

2025 年 1 月 1 日現在

東京大学運営方針委員の略歴及び選考理由

氏名：武田 洋子（たけだ ようこ）

現職：株式会社三菱総合研究所 執行役員（兼）研究理事、シンクタンク部門長

略歴：1994 年 4 月 日本銀行 入行

2008 年 12 月 ジョージタウン大学公共政策大学院修士課程 修了

2009 年 4 月 株式会社三菱総合研究所 入社

2012 年 4 月 同 政策・経済研究センター主席研究員、チーフエコノミスト

2015 年 10 月 同 政策・経済研究センター副センター長、チーフエコノミスト

2017 年 10 月 同 政策・経済研究センター長、チーフエコノミスト

2020 年 10 月 同 シンクタンク部門副部門長（兼）政策・経済センター長、
チーフエコノミスト

2021 年 12 月 同 研究理事 シンクタンク部門副部門長（兼）
政策・経済センター長、チーフエコノミスト

2022 年 10 月 同 研究理事 シンクタンク部門副部門長（兼）
シンクタンク部門統括室長（兼）政策・経済センター長、
チーフエコノミスト

2023 年 6 月 株式会社リコー 社外取締役（～現在）
ファナック株式会社 社外取締役（～現在）

2023 年 10 月 株式会社三菱総合研究所 執行役員（兼）研究理事、
シンクタンク部門長（～現在）

運営方針委員の在任年数：0 年

【選考理由】

武田氏は、日本銀行における勤務の後、三菱総合研究所の政策・経済研究センター長やシンクタンク部門副部門長などを経て、現在は同社の執行役員（兼）研究理事を務める。さらに、株式会社リコー及びファナック株式会社の社外取締役や、政府における様々な審議会等の委員を務めるとともに、2022 年度からは本学産学協創・社会連携協議会アドバイザーボードのメンバーとして本学の産学協創や社会連携への助言を行っている。

以上のとおり、武田氏はその経歴から経営やグローバル経済、社会動向に関する専門的知見など高い識見を有しており、東京大学憲章をはじめとする本学の理念・目標を共有し、世界の公共性に奉仕する東京大学の使命を踏まえ、東京大学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、建設的な対話を通じ、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められることから、運営方針委員に相応しいと判断した。

以上